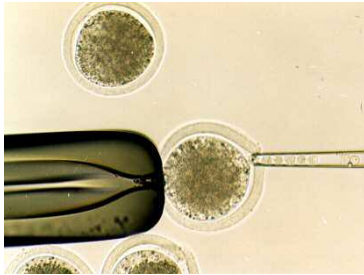
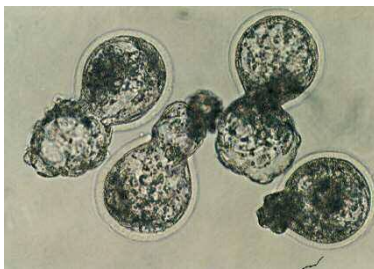




体細胞クローンによる 高泌乳能力をもったウシの生産



体細胞の注入



培養中の受精卵



誕生したクローン牛

（畜産研究所、生物工学部開発）

背景

愛知県の生乳の生産は、渥美半島や知多半島を中心に行われ、産出額は全国7位です。生乳を効率的に生産するためには、能力の高いウシを利用することが重要です。そのため試験場では、当時開発されつつあった体細胞クローン技術を利用し、高泌乳能力をもったウシの生産技術を開発しました。

成果の内容

泌乳能力の高いウシの体細胞を未受精卵に融合した後、仮親に移植することで、元のウシと遺伝的には全く同じウシを生産する技術を確認することができました。

愛知県農業への貢献

この技術が実用化されれば優秀なウシを大量に生産することができます。しかし、生乳等の安全性を確認するため、技術の確立にはさらに多くの研究の積み重ねが必要です。

（畜産研究部）